

# 北海道ペタンク森オープン大会

## 1. 趣旨

ペタンクの活動を通して、生涯スポーツの振興を図るとともに参加者同士の交流の機会を広げ施設利用促進を図る。

## 2. 期日

平成26年5月17日（土）～18日（日）1泊2日

## 3. 主催（共催）

北海道ペタンク協会  
北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森

## 4. 参加対象

どなたでも

## 5. 参加実績

大会参加 35チーム 105名 その他大会運営関係者 50名

## 6. プログラム内容

	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
17日			ネイパル森 入所受付		入浴・自主練習	受付		前夜祭		片付け 就寝準備	就寝		
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
18日	起洗 床面	朝食	移動	北海道オープンペタンク森大会								閉会式	

## 7. 活動の様子

この事業は、「ペタンクの活動を通して、生涯スポーツの振興を図ると共に参加者同士の交流の機会を広げ、施設利用促進を図る。」ことが目的。地元森町をはじめ、遠くは青森、美幌、池田などから、12市町、計105名が参加した。

初日は、東北、北海道各地から多くの参加者がネイパル森に集まった。いくつかのチームはネイパル森のグラウンドで練習をしたり、ネイパル森の温泉に入って疲れをとったりしていた。夕食は交流会も兼ねた前夜祭が行われ、森町特産のトマトなどの野菜や魚を味わい、交流を深めた。最後は「森町ソイヤ踊り」を参加者全員で踊り、会場は大いに盛り上がった。



2日目は、トリプルス35チームが参加し、オープン大会が、サンビレッジ森ペタンクコートで行われた。フランス発祥のこの競技は、金属のボールを目標となる木製の小さな球「ビュット」に向けて近づけるように、互いに投げるもの。予選は、9つのリーグに分かれての総当たり戦。各チーム3試合から2試合を行った。はじめて参加するチームもあれば、常連といえるぐらい毎回出ているチームもあり、バラエティーに富んだ試合展開となった。全道、全国上位レベルのチームがほぼ順当に勝ち上がったが、中には、初めて組んだチームが予選を通過するペタンクならではの番狂わせの場面も見られた。

午後からは、18チームによる決勝トーナメントを行った。予選を勝ち抜いてきた好調なチームが多く、大接戦の試合となり、夕方遅くまで熱戦が続いた。

優勝は、北見の「北見 MMH」。2位は池田の「十勝ワインズ D」、3位に白老の「ななかまどしらおい」がそれぞれ入賞し、喜びの表情を見せていた。



## 8. 参加者の声

- 思わぬ結果が出て、とても楽しくプレーすることができた。
- 高齢になってもできるスポーツは素晴らしいですね。
- 森町の特産品などとても美味しかったです。
- ネイパル森の温泉で長旅の疲れがとれて元気にプレーできた。

## 9. 事業の分析と考察

北海道ペタンク協会との共催事業として定着している。森町のペタンク協会の会員が中心となって、前夜祭の準備から会場の準備、後片付けまで綿密な打合せを経て実施されている。特に遠方からの参加者にとってネイパル森は最適な宿泊施設となっている。道内各地で行われるこの大会は、他の施設（ネイパル）の利用促進にも貢献できると考える。

## 10. 成果と課題

- 生涯スポーツとして「ペタンク」が認知されてきているが、特に若い世代、ジュニアへの普及が必要。
- 道内のネイパル施設とも連携を図り、生涯スポーツ振興、利用者促進へ繋げていく。

